

第43回品質保証検討会 議事録

1. 日時：平成27年6月3日（水）13時30分～16時40分

2. 場所：（一社）日本電気協会 D会議室

3. 出席者：（敬称略，順不同）

○出席委員：鈴木主査（中部電力），秋吉副主査（関西電力），大谷（三菱電機），谷（東芝），松山（三菱重工業），近藤（東京電力），水嶋（東北電力），梶谷（日本原子力発電），島津（北海道電力），辰巳（北陸電力），筒井（九州電力），菊池（四国電力），須河内（電源開発），原田（中国電力），小又（三菱原子燃料），植木（原燃工），鳥海（GNF-J），山内（JAEA），村上（JANSI），

渡邊邦（JANSI），牧（リサイクル燃料貯蔵） 計21名

○代理委員：友田（IHI・岡部代理），野村（日立GE・芝原代理），若山（日本原燃・中村代理） 計3名

（小計24名）

○欠席委員：新田（富士電機） 計1名

○常時参加者：上田（三菱重工業），齋藤（JANSI），日隈（東芝），田村（東京電力），渡邊雅（原子力規制庁） 計5名

○オブザーバ：山田（中国電力） 計1名

○事務局：美馬（日本電気協会） 計1名

（出席者合計31名）

4. 配付資料

- 資料 43-1 品質保証検討会委員名簿
- 資料 43-2 第42回品質保証検討会議事録(案)
- 資料 43-3 JEAG 4121-2015 エディトリアル・チェック（平成27年5月26日以降）
- 資料 43-4-1 機械学会誤記対応(水平展開)確認結果（総括，全体G・各章G）
- 資料 43-4-2 JSME 誤記対応のうち JEAC4111-2009 確認表（1～8章，附属書）
- 資料 43-4-3 JSME 誤記対応のうち JEAC4111-2013 確認表（1～9章，附属書）
- 資料 43-5 平成27年度 JEAC4111 講習会等 計画
- 参考資料 43-1 JEAC4111/JEAG4121 改定検討WG 体制表
- 参考資料 43-2 品質保証分科会・検討会データベースライブラリー（案）

5. 議事

(1) 代理出席委員の承認，定足数の確認，委員等の交代

事務局より，I H I 岡部委員の代理として友田氏が出席していること、および委員2名の交代、芝原委員→野村氏（日立GE），中村委員→若山氏（日本原燃）があり，正式には6月12日に開催される品質保証分科会で承認を得る予定であるが本日は代理出席である旨を説明。また，原田委員（中国電力）が8月末に退任する予定で，後任委員候補の山田氏が本日オブザーバとして出席している旨を説明。

鈴木主査により代理およびオブザーバの出席が承認された。

事務局より，本会議は代理を含め委員25名中24名が出席であり，議案決議に必要な定足数（委員の3分の2以上＝17名以上が出席）を満たしている旨報告された。

(2) 配付資料の確認

事務局より、本日の配付資料を説明し、各自確認。

(3) 主査の選任

事務局より、鈴木主査の任期が3月8日に満了していたにも拘わらず前回の検討会で選任を失念したため今回選任すること、開催通知に合わせ自薦他薦があれば事務局まで事前に提出していただけるよう案内していたが推薦はなかったことを説明。

渡邊邦委員から鈴木主査の再任を推薦する旨の発言があった他は発言なし。書面による投票により鈴木主査が再任された。鈴木主査により秋吉委員が副主席に再指名された。

(4) 前回議事録の確認

資料43-2 前回議事録(案)は、開催直後から出席者の間でメールによりレビューを受けているが、内容を改めて事務局、主査から説明し、承認された。

(5) 「原子力安全のためのマネジメントシステム規程(JEAC4111-2013)の適用指針(JEAG4121-201X)」の発行準備状況について

事務局、主査より、前回3月10日の検討会以降、印刷用ゲラを用意して2度の全体作業会の後、5月26日に各章責任者が集まってチェックを実施したことを説明。5月26日以降に辰巳、鈴木、秋吉、近藤、菊池、上田6氏から修正意見が提出されたため、検討会メンバーの皆さんにも見てもらう趣旨で、本日の配付資料(資料43-3)としたことを説明。

資料43-3の修正意見の取り扱いについて、項目毎に審議された。

<以下詳細>

○辰巳案

- ・表紙と目次

文節で改行するかどうか議論した結果、「このまま(辰巳案)」とすることになった。

- ・参考のタイトルに含まれる「各章」を削除
- ・半角または全角に変更、空白挿入、インデント揃え → 全て了承。
- ・a)の前の全角スペースを削除する提案は、半角スペースにして残すことに。

○鈴木案

- ・p244: 「安全に関する業務」を「安全に係わる業務」に変更する提案は取りやめ。
- ・p245: 日本語に「?」を使うことについて辰巳委員および後日事務局から疑問を呈し、取りやめ。

○秋吉案

- ・p80: 実施部門を罫線で囲むのは維持。フォントを小さくし区切りも変更。トップマネジメントを中央揃え。
- ・P82: 処理は処置に統一。

○近藤案

- ・p157: 「検証」の後に「の確認」を追加する提案を取り下げた以外、了承。
- ・p164: 「調達」を削除し、『「原子力施設の使用を含む」を明記した。』に修正。
- ・p165: 修正を了承。

○菊池案

- ・p34, 94: 了承。
- ・p230: 「全て」を「すべて」に変更する提案は取り下げ。
- ・附属書-2 p13: 了承。

○上田案

- ・全て了承。

23日の分科会に本日の結果を反映した最終稿を提出し報告することとした。
なお、不適切な使用を避けるため、背景に「禁複写・転載」を入れることとした。

(6) 日本機械学会 設計・建設規格の誤りに対する対応について

資料 43-4-1, 2, 3 に基づき報告，了承された。

<以下詳細>

- ・資料 43-4-1 に基づき，各チームのリーダーから報告。本文：中間→中間報告、現在策定中→策定当時最新版に修正。4～6章：問題なし→誤記なしに修正。7章：201X→2015 に修正。
「気づき事項」は、既にわかっていることであり、誤記とは違うのでここには記載しないことになった。
8章：資料内容につき，了解。
9章：「GSR Part2 の最終確定版の評価・検討を行うことにしている。」
→先の話であり，他章にも関わるため，削除。
DS456 との比較評価については誤記チェックとは切り離して考えるべきとの意見があり，備考欄から削除することとした。
- ・資料 43-4-1, 2, 3 について，上記修正および 43-4-3 の 1(→序論に修正)～3 章確認表のフォーマットを修正した上で，23日の分科会資料とする。

(7) 平成27年度の品質保証JEAC4111コースⅡ、Ⅲ、Ⅳ講習会について

資料43-5に基づき，辰巳委員から報告し，了承された。

コースⅡの最初の全体パートと最後の総括については，別途構成について検討する。
(渡邊邦委員)

渡邊邦委員から，中條先生にお願いして，ISO 9001:2015の改正意図や目的など本質的なところを講義していただくことを計画しているので(7月7日14:00～電気協会C,D会議室)，皆さん参加して欲しいと説明があった。事前質問事項があれば，6月25日までに近藤委員までメールで提出することとなった。7月8日検討WGは中止。

(8) その他

- ・共用データベースについて，参考資料 43-2 に基づき筒井委員から説明。
使用上のルールを作る必要性、掲示にあたっての著作権の問題、ITに詳しい人が検討に加わる必要性等について議論され、今後さらに検討を進め具体化を図ることとした。
階層構造，セキュリティ，容量などの基本仕様についての質問があり，事務局から翌日メールにて以下のように回答。
 - ・階層はなし。(フォルダーで区分して保存し，掲示板としても使える。)
 - ・セキュリティはパスワードのみ。
 - ・容量は数十ギガで，分科会毎の配分はなし。
- ・改定に関する情報の共有
(JIS Q 9001:2015検討WGの状況)
近藤委員より，5月13日に第1回検討WGを実施したこと，新しいJISでは，リスク等厚くなっているところと設計・開発のように薄くなっているところがあり，附属書-1の検討にあたってどうするかという問題があること，7月7日に中條先生にご講演いただくこと，今後検討WGメンバー以外にも案内を出すので出席してもらいたいことの説明があった。
渡邊邦委員より，JIS Q 9001:2015の状況について，以下のとおり報告された。

(NSQ-100の状況)

5月29日にISOのTC85の国内委員会が開催され、3月のパリ会議の報告があったが、NSQ-100に基づいてそれをISO化しようとする動きは、コメント処理が半分だったらしい。今後は、6月末～7月の3日間に第4回WGが開催され、8～9月にCD発行、年内にCDに対する投票結果のレビュー、来年にFDISを出して出来るだけ早期に議論をしたいという動きになっている。現状、NSQ-100はISO 9001の2008年版をベースに策定されているが、当面は2015年版との適合表を策定し、2015年版発行後3年以内に改定する。

GSR Part2の反映、NSQ-100の8つのガイドラインをISOのガイドライン化することが今後の課題である。

以上